

人権が守られる、子どもが主役の学校に

本校は、全校児童333人、職員31人の学校です。教育目標は「自他を大切にし、夢の実現を目指す子どもの育成」で、子どもたちが自ら「感じ」「考え」「判断し」「行動していく」学校づくりに取り組んでいます。運動会は子どもたちの主体性を大切にしながら行いました。また、委員会活動も、6年生が中心となって主体的で工夫した活動が行われています。また、月曜日と木曜日の放課後には、太陽やまびこ解放学習会に約80人の子どもたちが参加しています。身の周りにおけるいじめや差別をなくしていくための確かな人権感覚と実践力を育てていきます。



児童集会での無言清掃の呼びかけ

ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば

人権教育・啓発課 ☎(232)2113

人権啓発標語 「いじめは自分の心から始まる とめるのも自分の心」

菊陽中部小学校 6年 笹谷 若菜(現在中学1年生)

「小学校最後の持久走大会」



ひとの絆を宝に

今日は、小学校最後の持久走大会でした。そして、小学校最後の一番の思い出となる持久走大会でした。

私は、試走ではいつも最下位で、とてもくやしい思いをしてきたので、母と「さんさん公園」や「元気の森公園」で練習し、たくさん走ってきました。

今日の三時間目の休み時間、みんなで「さんさん公園」に向かいました。目的地に着くと、たくさんの保護者の方がおられました。予想どおり、私はスタート地点から最下位でした。しかし、前の友だちとの距離があまりなく、逆に少しずつだけど、せばまっていくようでした。そして、残りわずかというところで、私は最後の力をふりしぼって最後の最後の最後で前の友だちを追いこすことができました。もうその時は夢じゃないかというほどうれしくてたまりませんでした。これも、先生やたくさんの友だちが応援してくれたお

菊陽西小学校 6年 神野 そら(現在中学1年生)

かげかなと思いました。

先生は、「作戦どおり」とおっしゃっていましたが、私も絶対に追いこしてやるという気持ちが強くて、あきらめない気持ちがあったから追いぬくことができたのだと思います。

家に帰ると、父や母がほめてくれました。友だち、先生。そして、母や父にありがとうという気持ちでいっぱいです。

今日の持久走大会は、一生忘れることのない小学校最後の一番の思い出です。

(先生より)持久走大会では、毎年歯がゆくて、くやしい思いをしてきたそらさん。でも、体育の時間自分のペースを大事にしながら最後まで走る姿は、かっこよくて輝いていました。そこには、温かい家族の支えや「なかま」の応援があったのです。「家族の温かい絆」とつながり合う「なかま」の大切さ。そして「あきらめないことの大切さ」を学び、そらさんにとって、小学校最後の一番の思い出の持久走大会になりました。

「人権のまち菊陽フェスタ」

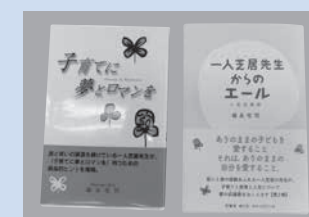
～福永宅司さん「一人芝居先生が行く」～



笑い涙と感動を！

9月8日(土)午後1時30分から「人権のまち菊陽フェスタ」を町図書館ホールで開催します。今回は教育講演や人権啓発活動の一人芝居をされている福永宅司さんを招いて講演・一人芝居を行っていただきます。

福永宅司さんは2004年に22年間勤めた小学校教員を退職し、子どもたちの学びや憩いの場として「子どもの学び館」を設立され子育ての支援活動を行っています。在職中は福岡市同和教育研究会の研究部長を務めるなど、一貫して学力保障と人権教育にこだわり数々の創造的な実践を展開されてきました。「泣いて笑って感動した」と話題となり年間に150回程度の講演活動を行うほか、著書に「子育てに夢とロマンを」、「一人芝居先生からのエール人生応援歌」などがあります。一人芝居の様子について、著書では「人を傷つけて人は幸せになりません。人を幸せにして人は幸せになります。私は、一人芝居『君をいじめから守る』というオリジナル作品を演じています。その劇中に、こういう授業風景を入れています。若い田所先生という熱血教師が社会科の授業を展開していきます。台詞は簡単にまとめると、『人間の偏見が行動としてあらわれるのは、段階があるんだ。人間の差別は初めは陰口から始まるんだ。陰口→回避→締め出し→身体的暴力→絶滅とどんどん悪い方向へ行く。最後は命まで奪うんだ。だから始めの陰口の段階で叩き壊さないと。実はこれ、いじめに変えてみたらどうだろう…』切々といじめ撲滅の授業をします。この芝居を全国でやっていますが、もうこの場面ではシーンと会場は息を潜ませています。…」(「一人芝居先生からのエール人生応援歌」p-160「いじめを叩き壊して」より)と記されています。



子どもが、親が、教師が、人が感動し元気になる機会になると思いますのでご期待ください。皆様のご来場をお待ちしています。

短歌会

明後日に二十五箱の注文あり玉が揃うかグリーンメロンは桜散るいつせいに散るこの夕べひととせの夢散らすごとくに梅雨入りも間近となりて子も孫も厳しき顔で畑に出でゆく窓の辺に咲く紫陽花は朝な夕な彩り変えて深まりてゆく青色のバスが出てくるターミナルたくさん並んでいるね

菊陽句会報

きくよう文芸

ミニ鳥居抜けたる笑ひ若葉風
老鶯や手野の大杉見事にて
早苗田の早整ひて阿蘇は永久
今年また何も捨てずに更衣
桑の実や道草食った幼き日
うずを巻く鼻ぐり井手や田水引く
不器用にいきるもよしと木の芽和へ
堂見や夜風のぬるし田んぼ道
朴の花樹齡が語る国造社

田島 三間
宮川ユキエ
紫藤 祥子
曾我 育代
曾我 トモ子
緒方チエ子
米山るみ子
吉田 幸子
木村 信子

か細くも我を狙らひて蚊の一文
父愛でし紫陽花の藍半世紀
梅雨夕焼自転車隊や部活終へ
草むしる朝の冷氣のその中に
労りを交はし垣根に半夏生
苗代や水に映りし月を待つ
コバルトの水菓を崩し海想う
風呂出て勢ひのままトマト食む
梅漬けて朝毎の紅葉しめり

志賀キヨ子
財津 早雪
原野レイ子
寺尾千代子
高橋 孝子
福田 貴子
田中 亜古
北川しんじ
佐藤 澄世

梅田 國雄
河北 幸一
佐藤せい子
中村トシエ
松本 東亜